

しまだいい便り

大学の旬な情報をお届け

島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。

1 島根大学の諸活動を透明化・可視化 第一回学長定例記者会見を開催



5月24日、学長定例記者会見を開催し、3つのテーマについて説明しました。

1つ目は、「地域中核・特色ある研究大学」として始動！。本学が採択された文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」について、

同事業の意義や今後の展望について説明しました。2つ目は「地域期待の材料エネルギー学部スタート！」。今年度からスタートした「材料エネルギー学部」について、初年度入試の結果を報告したほか、教育の中核となる「アントレプレナーシップ教育」の展開について説明しました。3つ目は「創発的研究支援事業に本学から初採択」。学術研究院医学・看護学系の藤田幸教授の研究「損傷後の神経回路修復を促す手法の開発」が、島根県から初めてJST創発的研究支援事業に採択された件について説明しました。本学は、より多くのステークホルダーに本学の活動を理解いただけるよう、今後も定例的に学長による記者会見を行ってまいります。

4 最新鋭の放射線設備で島根県のがん治療に貢献 放射線治療棟竣工記念式典を開催



島根大学医学部附属病院は、4月29日に放射線治療棟竣工記念式典及び内覧会を開催しました。放射線治療棟に入っている高エネルギー診断棟は、築40年を超え、老朽化が進んでいたため、放射線治療棟を新営し、最新の放射線設備を整備することとなり、このたび竣工を迎えました。

式典では、服部泰直学長、椎名浩昭病院長の挨拶の後、文部科学省高等教育課大学病院支援室長の永田昭浩様、島根県健康福祉部長の安食治外様よりご祝辞を賜りました。式典終了後は、テープカットとともに内覧会を開催しました。今回導入されたリニアック機は、がん病巣を特定し、呼吸などで動く患部を追尾する機能があり、より精度の高いピンポイント照射が可能です。放射線量も軽減され、副作用が少ない効果的な治療を行うことが可能となりました。今後、1日あたり約40名の治療が見込まれていますが、患者さんのプライバシーにも十分配慮したきめ細やかな治療を提供するとともに、引き続き島根県のがん治療に貢献していきます。

2 研究・人材育成・施設の相互利用等で協力 JASRIと包括的連携協定を締結



4月13日、本学と公益財団法人高輝度光科学研究センター（JASRI）は包括的連携に関する協定の締結式を行いました。JASRIは、世界最高レベルの放射光を生み出すことができる大型放射光施設Spring-8と、X線自由電子レーザー施設SACLAのユーザーサポートなどを行う公益財団法人です。この4月より、JASRIから2名の研究者が材料エネルギー学部に着任しました。この連携を機に、研究及び人材育成のさらなる加速が期待されます。

3 インフラのメンテナンスにおける課題解決を目指す 学会発表で優秀発表賞を受賞



総合理工学部機械・電気電子工学科(当時4年)のAhmad Sharifuddinさんが、3月に沖縄で開催された電子情報通信学会フォトニックスネットワーク研究会第2種研究会学生ワークショップにおいて、「スペクトルパターンを有する光周波数コムを用いた長距離周波数変調連続波型LiDAR」についての研究発表を行い、優秀発表賞を受賞しました。この研究はLiDARによるインフラ形状計測の自動化を目指し、インフラの点検頻度の向上を目指すものです。

5 島根大学からは初受賞 日本農芸化学会功績賞を受賞



日本農芸化学会2023年度広島大会において、生物資源科学部の川向誠教授が日本農芸化学会功績賞を受賞しました。この賞は、昭和61年に制定され、農芸化学の発展に特に功績のあった正会員に授与される伝統的な賞で、この度「分裂酵母を基盤とした増殖制御機構とCoQ10生合成」の研究が評価されたものです。島根大学からは初受賞です。

6 本庄総合農場と地域との交流の場 「春の農場開放日」を開催



4月15日、生物資源科学部附属生物資源教育研究センター本庄総合農場では、4年ぶりに「春の農場開放日」を開催しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、200名近い来場者があり、遅咲き品種のサクラを楽しんでいました。サクラ遺伝資源保存園ツアーと、熱帯果樹温室の見学などが実施されたほか、島根大学オリジナル有機質肥料「キャンパスト」や、農場で栽培・加工したオリジナルジャムなどの販売もあり、農場と地域との交流の場として賑わいました。

読者の声
Voice

広報しまだいい
vol.54に
寄せられた声をお届けします。

この数年で、新しい学部が設置され、進化していく様子が分かりました。
(島根県松江市・50代女性)

島大、島大生、卒業生を通して島根各地域のつながりが感じられるような記事がたくさんあると、応援したい気持ちが高まります！
(島根県松江市・女性)

他大学と一緒にあって共同して取り組んでいる研究や事業等紹介してほしいです。
(島根県松江市・80代男性)

サークルで鉄道研究会の記事がありました。今年、宇都井駅にいった際、島大の方がお手伝いおられて、色々話を聞きました。よかったです。
(島根県出雲市・60代女性)

卒業生の地元就職を促進するため、地元企業に勤めるOB・OGの声、頑張っている姿を特集してください。
(島根県出雲市・60代男性)